

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第524号（平成26年4月9日発行）

【今週号の主な内容】

- 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません
- 《RPPC・広報部会からのお知らせ》
  - ★調査研究部会 汚染土壌事業化分科会の開催
- 《リサイクルポートに関連する最新の情報》
  1. 国土交通省、「環境行動計画（2014年度～2020年度）」を策定
  2. 国土交通省、「国土のグランドデザイン」の骨子まとめ
  3. 沖ノ鳥島事故原因究明・再発防止に有識者委員会

=====

《RPPC・広報部会からのお知らせ》

★調査研究部会 汚染土壌事業化分科会を下記日程で開催いたします。

記

日 時：平成26年4月17日（木）15：30～

場 所：（一財）みなと総合研究財団 3階 会議室

以上

【広報部会・事務局】

-----

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 国土交通省、「環境行動計画（2014年度～2020年度）」を策定

国土交通省は3月31日、今後7年間を計画期間とする「環境行動計画（2014年度～2020年度）」を策定した。

港湾での洋上風力発電導入円滑化や、海洋再生可能エネルギーの活用、リサイクルポート施策の推進等を位置付けている。

リサイクルポート施策の推進では、港湾施設の整備等による支援に加え、官民連携による需給や物流のマッチングを通じた静脈物流システムの構築支援を通じてリサイクルポート拠点による静脈物流のモーダルシフト・輸送効率化を促進する。中長期的には、静脈物流コストの削減、臨海部産業の活性化に取り組む。

【港湾空港タイムス】

- 
2. 国土交通省、「国土のグランドデザイン」の骨子まとめ

国土交通省は3月28日、2050年を視野に入れた中長期的な国土・地域づくりの指針となる「国土のグランドデザイン」の骨子を取りまとめた。基本戦略として日本海側と太平洋側の連携、国

際戦略港湾の機能強化、日本海側の重要性を踏まえた港湾の活用等を挙げている。

方策例としては、高密度移動社会の実現に向け、▽国際戦略港湾の機能強化と高速道路等の整備、連携推進、▽資源・エネルギー等の安定的かつ安価な輸入の実現に向けた効率的な海上輸送網の形成など。

この中で日本海・太平洋2面活用型国土の形成では、▽北極海航路やシベリア鉄道を使ったシベリアランドブリッジ、パナマ運河再拡張による物流構造の大きな変化への対応、▽航路としての日本海側の重要性を踏まえた港湾の活用等を挙げている。

【港湾空港タイムス】

-----

### 3. 沖ノ鳥島事故原因究明・再発防止に有識者委員会

国土交通省関東地方整備局は、3月30日に発生した沖ノ鳥島における棧橋本体引き出し中の転覆事故について、

近く有識者で構成する「沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会（委員長・間瀬肇 京都大学防災研究所教授）」の初会合を開く。同事業を安全かつ確実に遂行するため、事故原因の究明及び再発防止策を検討する。2～3カ月を目途に中間とりまとめを行う予定。

同委員会では主な検討事項として、▽事故発生時の状況把握（気象・海象条件、施工手順等）、▽設計及び施工計画のレビュー、▽事故原因の検討、▽再発防止策の検討、などを挙げている。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金(株)

部会員：細貝 隆司 五洋建設(株)

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)

担当：本野、森谷、大矢、鈴木 URL：www.rppc.jp E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####